

初心者の方にも分かりやすく解説！

成功に近づく 不動産投資の始め方

国内最大の不動産投資サイト「楽待」にて
2021年 お問い合わせ最多不動産会社

 KAIROS MARKETING Ltd.

DESIGN YOUR ASSETS





目次

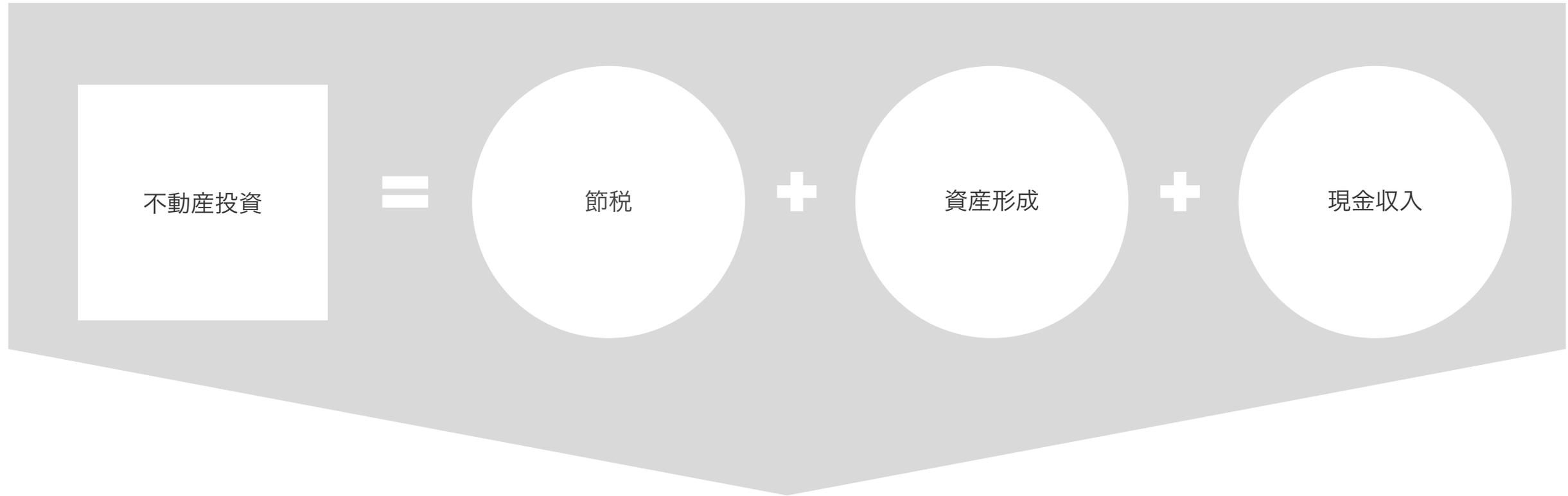
1. 不動産投資とは、どんな投資？今注目されている理由とは
2. 不動産投資を始めるための8つのステップ
3. 不動産投資初心者が知っておくべき基礎知識7選
4. 不動産投資 初心者の方が注意するポイント
5. カイロスマーケティングについて

1

不動産投資とはどんな投資？

今注目されている理由とは

1. 不動産投資とはどんな投資？
2. ローリスク・ミドルリターンと言われる不動産投資
3. 日本人の預貯金額と資産運用の現状
4. 人生100年時代の老後資金
5. 不動産投資がローリスク・ミドルリターン・ロングリターンと言われる理由



の全てを獲得する **投資方法** です

低金利と年金不安を背景に、新たな資金運用先として注目されています

近年、株式投資・投資信託・FXなどで積極的な資産運用を行なう人が増えています。預貯金にほとんど利子が付かない低金利が続いている影響から、不動産投資は**ローリスク・ミドルリターン**な資産運用先の一つとして人気です。

さらに不動産投資は、空室がない限り毎月安定的な収入を長期間に渡って得ることができることも大きな魅力で、**ロングリターン**とも言われてい、将来的な年金不安を補う「自分年金」に適しているとされ、退職金の運用先としても注目を浴びています。

このように不動産投資が一般化する中、会社員を続けながら不動産投資を始める「サラリーマン大家さん」も増えています。なぜなら、不動産投資には購入する不動産(物件)を担保に資金調達できるという特徴があり、必ずしもまとまった自己資金を必要としないためです。

預貯金額の平均は695万円
全体の41.0%がなんらかの資産運用を行っている

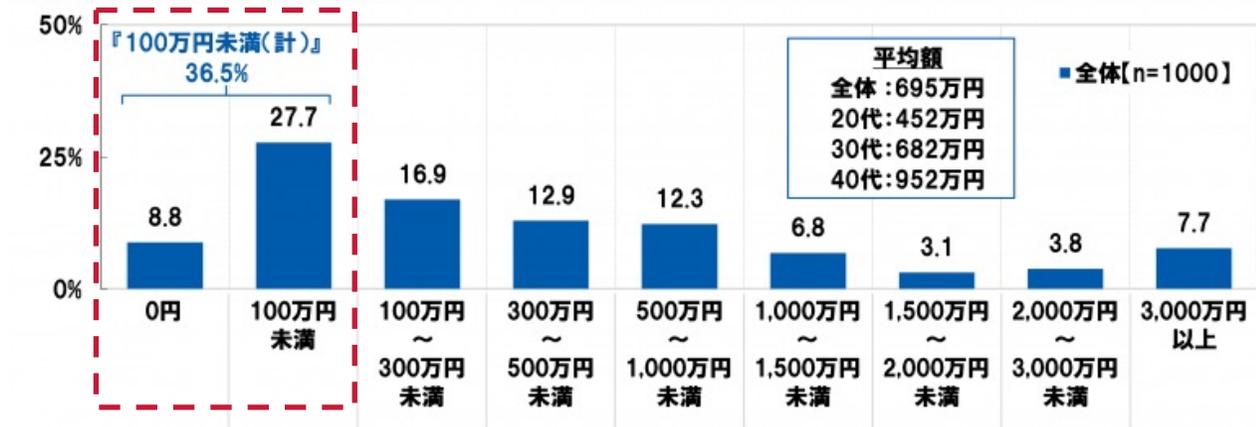
DIME調べによると、全国の20～49歳のビジネスパーソン1,000名の預貯金額は平均695万円。うち、100万円未満と答えた人は全体の36.5%に登る。

また現在行っている資産運用については、何らかの資産運用を行っている人の割合をみると41.0%となった。

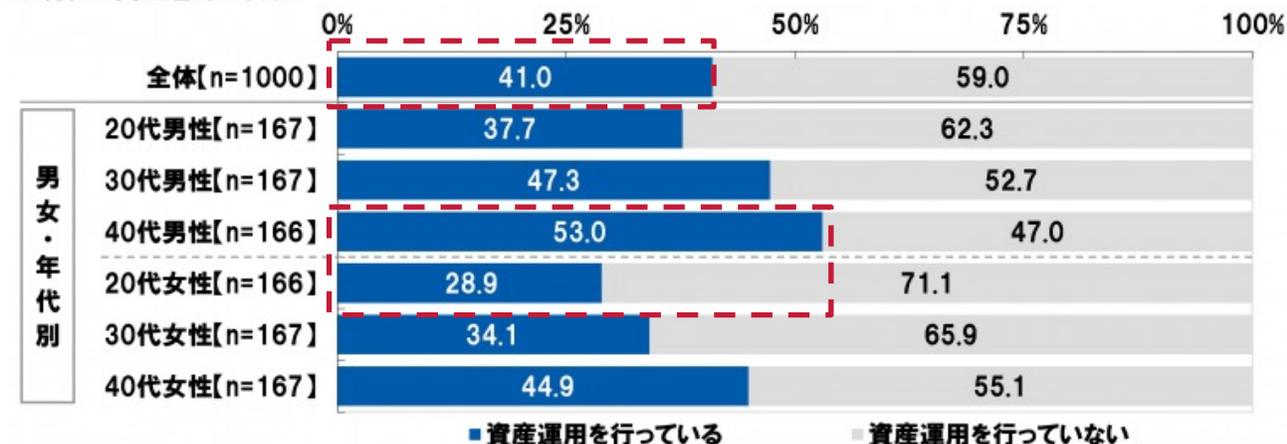
資産運用を行っている人の割合を男女・年代別にみると、高くなったのは40代男性(53.0%)、低くなったのは20代女性(28.9%)だった。若手ビジネスウーマンでは、他の層と比べて資産運用に取り組んでいる人が少ないようです。

出典元: みんなのライフハック@DIME
<https://dime.jp/genre/776101/>

◆現在の預貯金額 [単一回答形式]



◆現在の資産運用の状況



人生100年時代を見据えて、
資産をどうつくるか？

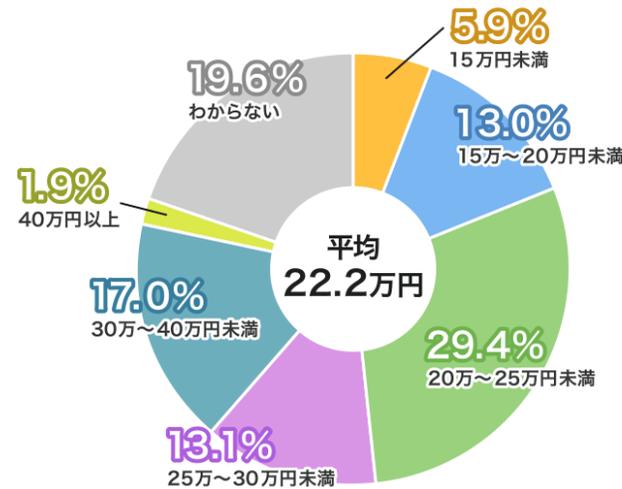
価格.comの調べによると夫婦2人で老後生活を送るうえで必要だと思われる最低日常生活費の平均額が月額22.1万円、ゆとりある老後生活費の平均額が月額36.1万円となっています。

これらは18歳から69歳の個人を対象にした調査であるため、老後生活費の実態を正確に示しているわけではありませんが、自分の老後の生活費を考えるうえで参考になります。

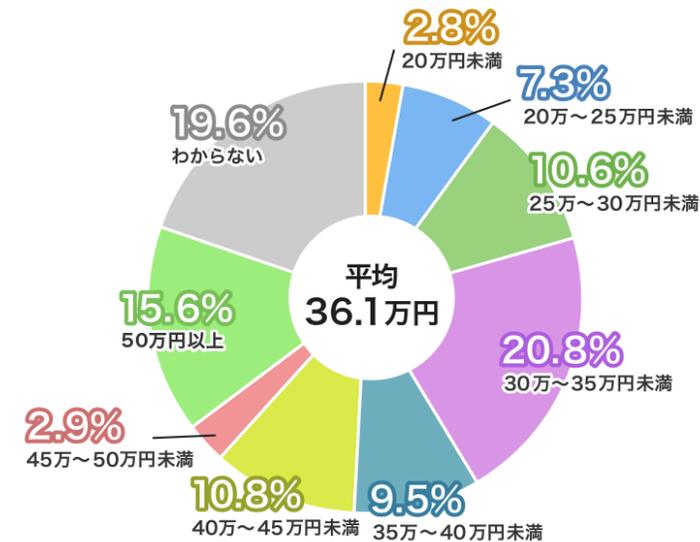
公的年金だけでは不足する老後の生活資金は、退職金・企業年金と、貯蓄・資産運用や定年後の就労などの自助努力でカバーする必要があります。

出典元:価格.com「老後に必要な生費と老後資金の準備方法」
<https://hoken.kakaku.com/gpa/select/seikatuhi/>

最低日常生活費



ゆとりある老後生活費



1-5 不動産投資がローリスク・ミドルリターン・ロングリターンと言われる理由

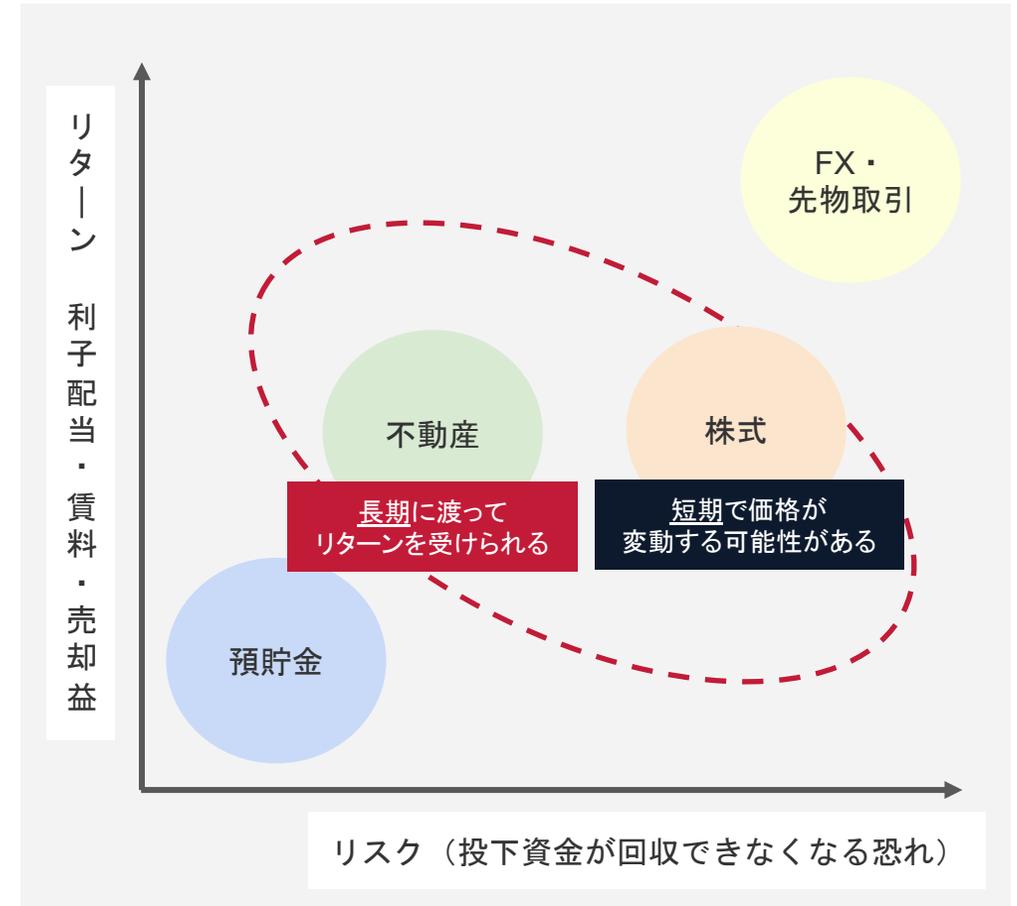
不動産投資はローリスク・ミドルリターンの投資です

リスク＝
不確実性・危険性

リターン＝
見返り

※基本的に全ての金融商品には、ある程度比例します

例えば、株式投資は短期間で大幅に価格が上下動するリスクがあります。不動産投資は物件価格が下落したり、地震や火事によって建物が倒壊してしまうリスクはありますが、比較的リターンは安定しています。一方でリスクが少ない金融商品の代表と言える預貯金と比べると、不動産投資にはリスクがあるものの、預貯金よりは高いリターンを得ることができます。このようなことから**不動産投資はローリスク・ミドルリターン・ロングリターン**の投資商品とされています。



2 不動産都市を始めるための 8つのステップ

1. 資産を確認する
2. 不動産以外の投資を試みる
3. ネットや書籍で不動産投資の予備知識に触れてみる
4. ポータルサイトで物件情報をみて、イメージをする
5. セミナーで不動産投資の具体的な投資手法を学ぶ
6. 不動産投資会社に相談する
7. 紹介を受けた物件を検討する
8. 契約し、融資交渉を行う

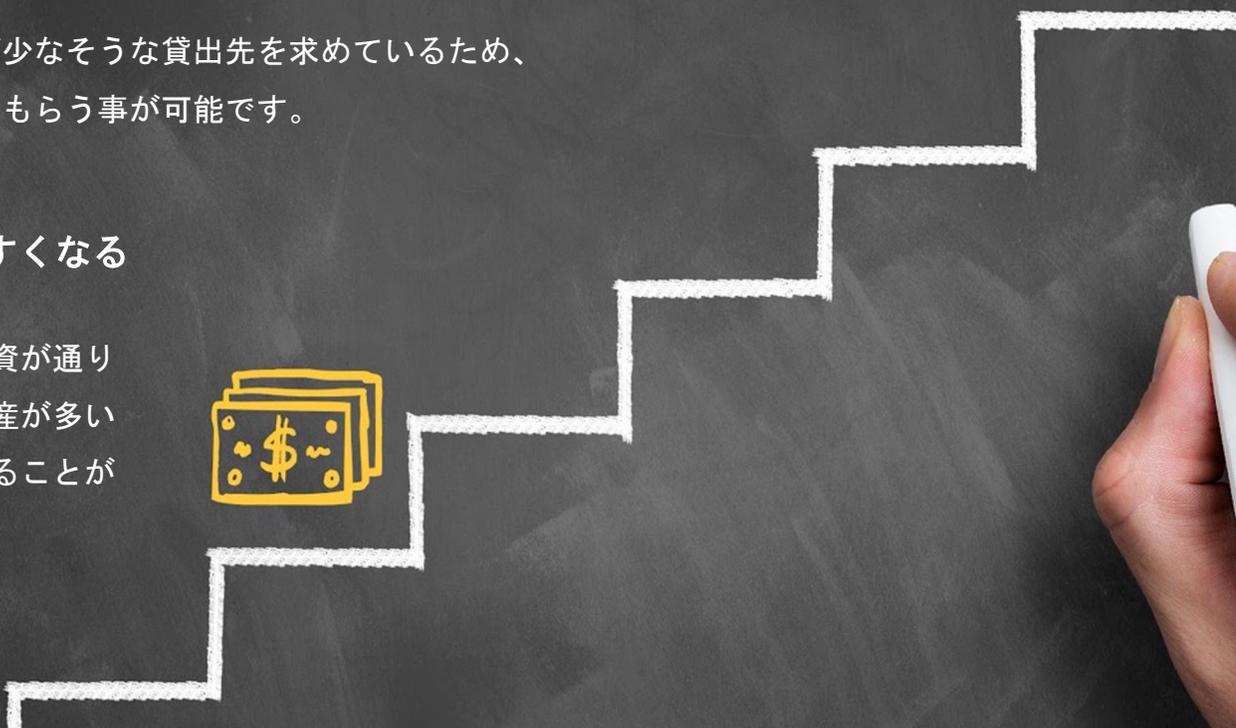
資金 = 現金 + ローン残高から考える

金利や自己資金割合など、融資面での優遇がききやすくなる

金融機関も、出来れば貸し倒れのリスクが少なそうな貸出先を求めているため、十分な資金があれば、融資条件を良くしてもらう事が可能です。

不動産会社から良質な物件情報を集めやすくなる

資産を多く持っている方は、金融機関の融資が通りやすいため、不動産会社にとっては金融資産が多い事が「良い顧客」の条件の一つになっていることが多くあります。



十分な資金がないと、投資物件の選択肢が狭まりリスクも上がります。

元手の資金は
どのくらい
貯めると良いの？

物件価格の
10～20%

初期費用の
目安は？

物件価格の
5～7%

※物件により変動あり

主な
初期費用は？

- 頭金
- 登記費用
- 仲介手数料
- 不動産取得税
- 損害保険料 など

資産500万円～のご準備が目安となります

※現金でのご用意ではなくても、その他の資産でも可能となります。

(例 住宅ローンですでに1,000万円以上の返済をお済みの方も同等の評価とみなされる場合があります。)

まずは投資の仕組みを知るために

投資はやったことがない方からすると、恐怖心を持ちやすくイメージがわからないものです。

まずは株・投資信託・為替をやってみましょう。

少額でできる投資で、投資の概念を身に着けてから不動産投資に望むのがオススメです。

少額投資で増えた方は、増えた利益を活用して物件を購入するのもいいでしょう。

少額投資で増えなかった方は、弊社のような不動産投資コンサルティングを活用して不動産投資に切り替えてみましょう。

専門知識は、どこから入手したらいいのでしょうか？

- 金利や減価償却費を含めた、利益の計算方法
- 融資のノウハウ
- 避けた方がよい物件、もしくは買いな物件の条件
- リスクヘッジの方法
- 買い増しや資産入れ替えなど、資産形成のテクニック

プロのコンサルティングが発信している情報から入手することが確実です！

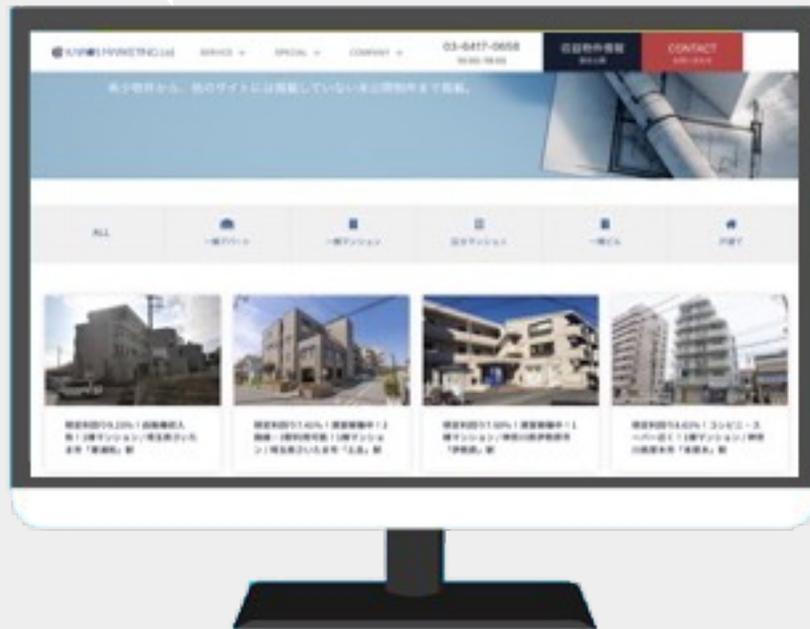
コラムを読む

カイロスマーケティングでは、代表高桑が不動産投資にまつわるコラムを定期的にアップしています。
2022年2月時点で執筆したコラム数は100記事になります。
こちらに合わせて読んでいただきお役立てください。



筆者：高桑 良充
KAIROS MARKETING LTD. CEO

「不動産投資を始めたい」と考えたら、まず始めに
「**市場（マーケット）にはどんな物件が売りに出ているのか**」をチェック



紹介された物件が割高なのか、お得なのかを
判断できる基準を養っておく

カイロスマーケティングの
掲載物件を見る

相場感を知り、投資の知識を学んだ次のステップは、
セミナーに参加して、「自分に合った投資スタイルを知る」です

セミナーに参加して知ろう！自分に合ったスタイルの投資法は？

長期投資をし、
年金代わりにしたい

融資を活用して
大規模に資産を作りたい

高年収者が一気に
節税を行いたい

これらの目的の方は不動産投資に向いています

セミナー日程はこちら



直接相談したいけれど・・・こんな不安ありませんか？

「不動産投資に興味を持ち始めて間もないのに、割高な物件を勧められたらどうしよう...」
「検討している投資物件を実際に見たいけど、管理している不動産会社が設立2年目で信頼できる不動産会社だろうか」

不動産投資会社を選ぶ基準5つのポイント

1 業歴が長い (10年以上)	2 お客様の声を 公開している	3 投資家の需要をベースに 考えてくれる	4 多数の金融機関と 取引がある	5 ネットで投資家からの 悪い口コミがない
------------------------------	------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------	------------------------------------

[ご相談はこちら](#)

実際に訪問する前に、上記5項目に当てはまっているかチェックを行い、信頼できる不動産会社か確認するようにしましょう

投資物件を検討する際に忘れてはいけないことは？

→**現地に訪問すること**

ここをチェックしよう

自分ではなく住む人の立場になって考える

家賃は手取り収入の3分の1程度が適正だとよく言われます。想定家賃の3倍ほどの手取りがある人の生活水準をイメージしたり、同じ物件に住んでいる他の入居者の属性を理解して、「住みたくなる物件か」を確認しましょう。

「紹介したい物件か？」仲介会社の営業マンに逆ヒアリングする

次に大事な視点は「賃貸仲介会社の営業マンはこの物件を紹介してくれるのか」です。営業マンに確認し、「この条件だと決まりづらいと思いますよ」などとコメントをもらった場合は、入居者が決まりにくい可能性がある物件＝入居者が退去した際に家賃を下げなければ次の入居者が入りにくいことが分かります。家賃が下がっても収支計画に問題がないかを確認しましょう。

契約時には、融資が出るかどうかはまだ分からないため、
必ず「ローン特約」をつけて契約することを忘れないようにしましょう

ローン契約とは？

予め融資条件などを定め、その条件よりも良い条件で
融資が下りなかった場合には買主にリスクなく契約が解除できる、
という取り決めを指します

ローン契約を結ばないとどうなる？

この特約を付けずに契約した場合は、融資が下りなくても
購入する義務が買主にありますので、不動産会社から
損害賠償を請求される可能性があります

融資が下りれば、金融機関と金銭消費貸借契約を結び、
不動産会社と決済をして、不動産投資がスタートします。

3

不動産投資初心者が知っておくべき基礎知識7選

1. 不動産投資はどんな人たちがしているの？
2. メリットは？
3. デメリットは？
4. 不動産投資をオススメしたい人
5. 不動産投資を始めるタイミング
6. どんな物件タイプが不動産投資には向いている？

3-1 不動産投資はどんな人がしているの？

不動産投資者は30代～50代が中心。
4割以上は「サラリーマン大家さん」

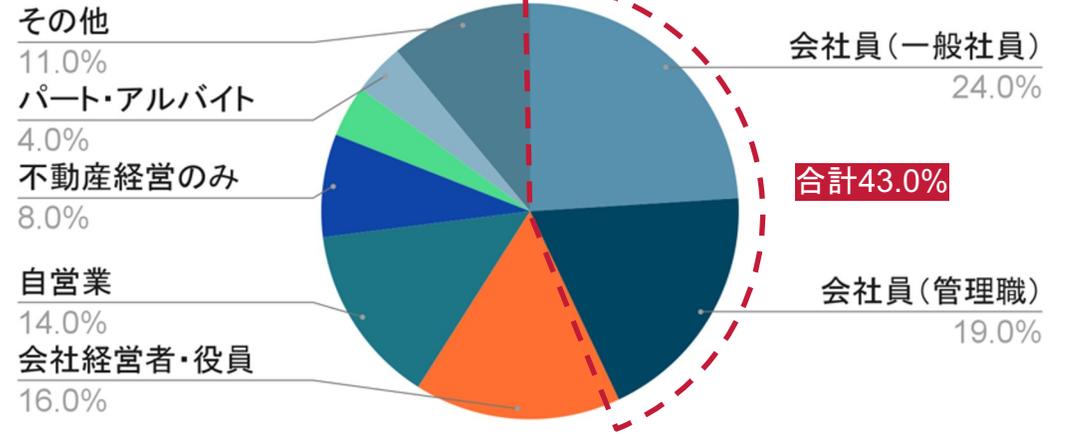
LIFULL HOME'Sが2007年に行なった「賃貸物件オーナーの経営実態調査」によると、賃貸物件オーナーの43%は会社勤めと並行して不動産投資を行なっています。

また、年齢構成についても40代が35.2%と最も多く、30代も22.8%と、比較的若い30代・40代が積極的に不動産投資を行なっていることがわかりました。

不動産投資に抱くイメージとして「若いうちは手を出せない」「お金持ちがやるもの」と語られがちですが、実際には不動産投資の敷居は徐々に低くなっており、30代・40代の「サラリーマン大家さん」が増えてきています。

出典元：「住宅・不動産情報ポータルサイト HOME'S調査」

不動産賃貸物件オーナーの職業



不動産賃貸物件オーナーの年齢構成



3-1 不動産投資はどんな人がしているの？

自己資金は物件価格の1割 多くの方が融資を活用

「不動産投資と収益物件の情報サイト 健美家」による「第16回不動産投資に関する意識調査」によると、2021年10月度には自己資金が「必要なかった」と答える方が27.1%、「物件価格の1割」と答える方が35.6%と合計62.7%と高い水準を示しています。

また、自己資金も500万円未満の方が27.5%、500万円以上の方が11.9%で自己資金700万円未満で不動産投資を行っている方もしくは検討している方は合計39.4%という結果も出ています。

出典元:「不動産投資と収益物件の情報サイト 健美家」
第16回不動産投資に関する意識調査

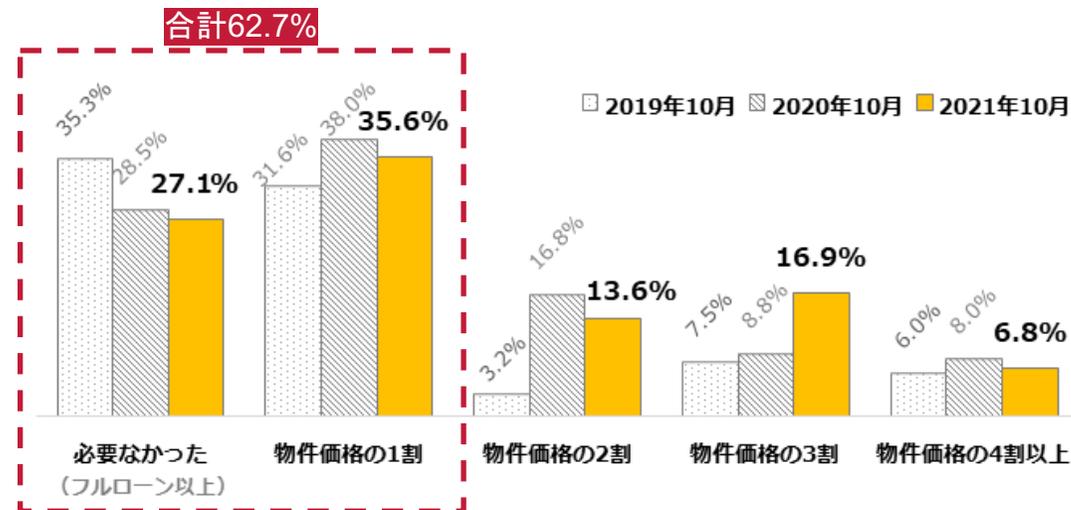
https://www.kenbiya.com/info/user_anquite_result202110.html

【融資を活用した方】への質問

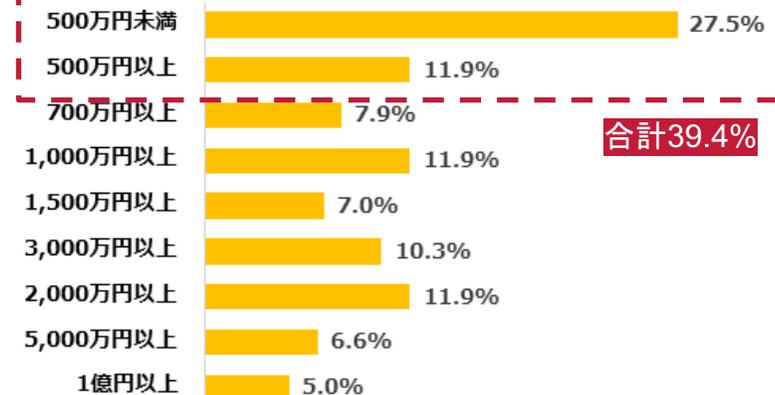
Q 自己資金はいくら必要でしたか

(n=59)

自己資金「1割」がもっとも多い



自己資金



不動産投資を行うメリット4選

1	2	3	4
<u>毎月、安定収入が得られる</u>	<u>売却益を見据えた長期保有</u>	<u>不労所得で資産ができる</u>	<u>資金調達が容易に</u>
入居者を確保することで、その入居者が退去するまでの間、一般的に2~3年は安定した収入が見込めます。 また賃料収入でローン返済・経費のキャッシュフロー上、安定した収入を確保できます。	ローンの返済が進むと、ローン残高と再販価格が逆転することで売却益が見込めます。 さらにインフレによって、土地の価値が上がり、利益幅が大きくなる可能性もあります。	株式投資などとは異なり、物件の選定や不動産会社（アドバイザー）の選定、賃貸管理や売却まで、プロに任せて、資産を作ることができます。	自己資金が少なくても、投資する不動産およびそこから得られる収益を担保にお金を借りることが可能です。

不動産投資は、毎月、安定的に収入を得られることが最大のメリットです

空室のリスク、災害のリスクなど考えておきたい4つのリスク

1. 空室のリスク	空室期間が長引くと、当初予定していた賃料が得られず、投資計画に狂いが生じてしまいます。 <u>家賃保証サービスの利用</u> や <u>入居条件の緩和</u> によりリスクを軽減できます。
2. 災害のリスク	地震や火災により、建物が倒壊・消失してしまうリスクがあります。 <u>保険への加入</u> でリスクを軽減します。
3. 資産価値・売却価格下落のリスク	日本経済が低迷や、地価が下落することによって資産としての価値が低くなってしまう可能性があります。 <u>エリア選定</u> や <u>マーケット分析</u> によりリスクを軽減できます。
4. 流動性の低さ	現金が必要になったときに、不動産はすぐに現金化できません。 あくまで <u>長期的な投資スタンスを持つ</u> ことがポイントです。

忙しい人

不動産投資は、高い専門知識を求められる投資商品であるため、自分自身で全ての知識を得たり、管理するのは難しいのが現実です。

また不動産投資は、初心者向けの投資と言われている一方で、人気のあるエリアや賃貸相場、税制関係まで専門性の高い知識を常にアップデートしていく必要があります。

セミナーへの参加や相談会で信頼できる不動産会社を選択し、良きパートナーに委託することで、所得は高く忙しくても、しっかり資産を形成することが可能です。



不動産に関心がない人

不動産投資は長期的に資産を形成する方法なので、計画性が重要です。物件にばかり目が行くと目の前の事が気になって、長期的な事業計画や意思決定ができません。

不動産投資を始める前に、ご自身が何年後にどうなっていたいのかを具体的にイメージし、数字的な根拠を優先することが大切です。

これをやっておくことで、利益が出るまで時間がかかったとしても焦りが出て途中で中断したり、または他の投資商品へ目移りすることを防ぐことができます。



不動産投資は、ご自身のスタンスを貫き通せる方、物事を長い目で見られる方が、成功しやすいです



低金利である今がチャンス

不動産投資の成否を握る大きな要素として、「金利」があります。

金利は1%変わるだけで利息も大きく変化し、月々のキャッシュフローに影響を及ぼします。

例えば、1,000万円を25年ローンで借り入れたとします。

元利均等返済の場合、金利が2.0%の場合は月々の返済額が84,770円、金利が3.0%の場合は、月々の返済額が94,842円と借入額が同じにも関わらず月々の返済で約10,000円程度変わってきてしまいます。総返済額も金利2.0%の場合は約2,543万円に対して金利3.0%の場合は約2,845万円と300万円以上の差になります。

昨今のニュースでも取り上げられていますが、現在は低金利です。金利動向を左右する日銀の黒川総裁は、自身の任期である2023年までの間にマイナス金利の脱却は難しいと述べています。コロナ禍で景気動向の先行きが不透明な中、今後しばらくの間は、低金利状態が続くとみてよいでしょう。

3-6 どんな物件タイプが不動産投資には向いている？

注目が集まる一棟アパート

「不動産投資と収益物件の情報サイト 健美家」第16回不動産投資に関する意識調査によると、「物件を積極的に探している」と回答した方の75.8%が一棟アパートと回答。

2021年4月以降に物件を購入した方は、一棟アパートが36.8%と上位にランクインし、2021年のデータでは1位の37.2%を示している。

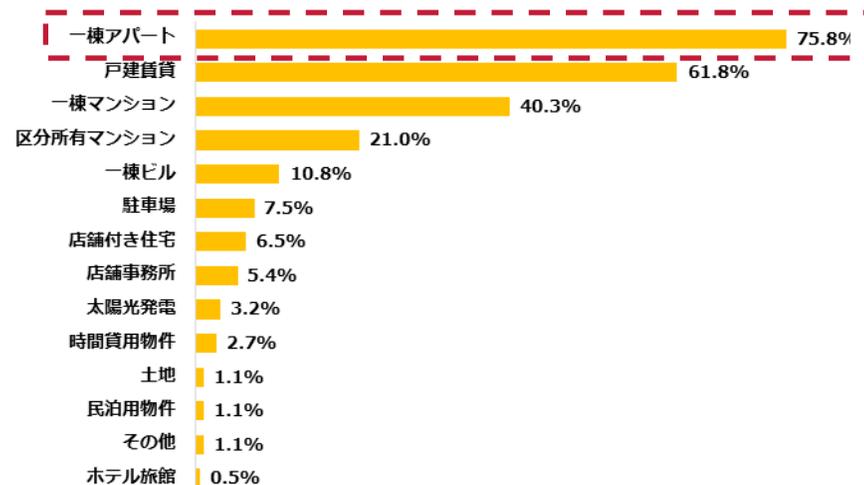
これらのことから、多くの方が一棟アパートを投資対象として考えることが多く、過去に買った方もこれから買おうとしている方からも支持されていることがわかる。

「物件を積極的に探している」と回答した方への質問

Q それはどんな物件種別ですか

(複数回答可 n=186)

一棟アパートが75.8%

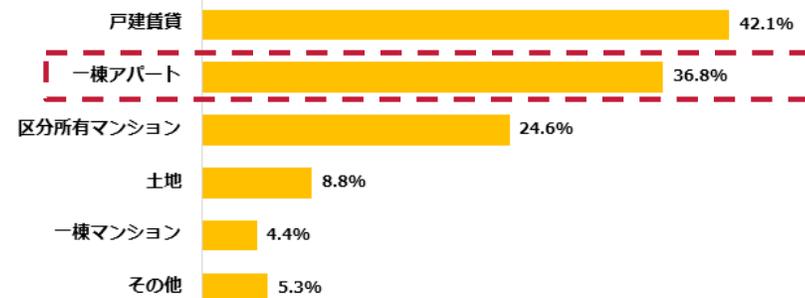


「購入した」と回答した方への質問

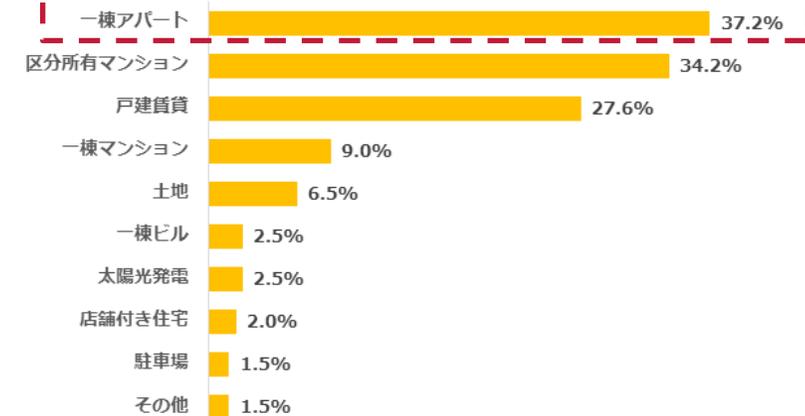
Q 購入した物件の種別は何ですか？

(複数回答可 n=114)

戸建賃貸が42.1%、一棟アパートが36.8%



【過去結果（2021年4月）】



出典元:「不動産投資と収益物件の情報サイト 健美家」

第16回不動産投資に関する意識調査

https://www.kenbiya.com/info/user_anquite_result202110.html

4

不動産投資 初心者の方が注意するポイント

1. 不動産投資初心者が失敗しそうな事例5選
2. よい物件を探すためにできること

4-1 不動産投資 初心者が失敗しそうな事例5選

1. 十分な資金なしに不動産投資に挑戦してしまう	十分な資金が無い状態で不動産投資を始めようとするれば、投資物件を購入できない可能性が高いです。また、投資物件を買えたとしても手元資金が少なくなり、 <u>突発的な修繕があった際など費用が払えなくなってしまう</u> といったことも起こりえます。
2. 営業マンの言うことを鵜呑みにする	不動産業者の中には、 <u>自社にとって都合のいいことを強調し、不都合な事実は言わないか、言っても目立たないようにする業者もいる</u> ようです。その業者の言うことを鵜呑みにしてしまうと、思わぬ箇所での失敗をすることとなります。
3. 怪しい不動産業者にあたってしまう	<u>毎年のように不動産業界では不祥事が明らかになっています</u> 。過去にとある会社で「10年間同じ額の家賃保証をする」という契約をしながら途中で家賃減額を求めたことで、訴訟に発展したことがありました。そのような不動産業者にあたってしまうと、不動産投資で利益を上げるどころか融資の返済に追われてしまうため注意が必要です。
4. 自分ひとりで不動産投資を行おうとする	実は意外に多い失敗がこちらです。不動産投資では、日々の物件の収支管理や物件状況の確認、さらには年に一度の確定申告など、多くの作業が発生するため、 <u>専門の大家でないと難しいと考えられています</u> 。 <u>兼業で不動産投資を行う場合は雑務を代行してくれる不動産投資会社選びが重要になると考えておきましょう</u> 。
5. 新築ワンルームを買ってしまう	新築ワンルーム投資の場合、 <u>価格が高いため月々の返済額が膨らみ、毎月赤字、つまり手出しが発生してしまいます</u> 。副収入を得るがために不動産投資を始めるのに、毎月手出しが発生していたら、本末転倒ということになってしまいます。

信頼できるメンターを見つける

不動産投資の勉強を始めると、誤った情報や古い情報にあたることが多いと気付くでしょう。信頼性の低い情報が混在していると、何が正しいのかわからなくなる場合があります。

不動産投資において、情報の鮮度や正確性は成否を分ける重要な要素です。

成功している投資家のリアルな声や、正確な情報の入手方法が得られる環境を作りましょう。

不動産投資のプロは、投資を成功に導いてくれる良きメンターとして頼れる存在になるでしょう。

信頼性の高い不動産投資会社を利用する

メンターを見つけるという意味でも、信頼できる不動産投資会社に相談することも重要です。不動産投資のプロが親身になって相談に乗ってくれるうえ、優良物件の紹介も受けられます。

確かな情報を得るためには、不動産投資会社と良好な関係を作ることも大切です。不動産投資会社の担当者もオーナーの目的が明確であれば、的確なアドバイスや物件の紹介をしやすくなります。

物件の購入についての意思をクリアにするためにも、相談に乗ってもらうことが必要です。ご自身の希望にぴったりの物件をお探しであれば、株式会社カイロスマーケティングにご相談ください。

5
カイロスマーケティングについて

1. カイロスマーケティングの投資家のモデルケース
2. Q&A
3. お客様の声
4. セミナー
5. カイロスマーケティングが考えるSDGs
6. SNSでも情報発信中

多くの投資家が約15年をかけて資産を形成しています

モデルケース

ご職業:メーカー勤務 年齢:42歳 持ち家あり

年収:2,000万円

現金貯蓄:2,000万円

住宅ローン:取得価格9,000万 ローン残高:7,000万円

トータル15年で5億円の物件を獲得(現金収入
1,500万円/年)

※修繕費などの経費をひいても約1,200万円手元に残る

1年目

- 現金1,000万円+ローンで1億円の1棟中古の物件購入
- 半年以内:現金500万円 自宅担保2,000万円を活用して、1億円の1棟中古物件購入

年間の現金収入(経費・税金引き後) 300-400万円
節税:課税所得1,000万円減少

2年目
~

年間の現金収入(経費・税金引き後) 300-400万円
節税:課税所得200-300万円減少

5~8
年目

- 現金収入・節税によって効率化した結果、得られた2,000万円のうち、現金:1,500万円、ローン:9,000万円で1億円の1当中古物件を買い増し

10年
目前後

- 現金収入・節税によって効率化した結果、得られた2,000万円のうち、現金:1,500万円、ローン:9,000万円で1億円の1当中古物件を買い増し

Q.不動産投資における最大のリスクは何ですか？

A.家賃が取れなくなることです。
それを避けるために、リーシング活動を慎重に、迅速に実行し続ける必要があります。

弊社では販売した物件を管理させていただく事がほとんどです。そのため一貫した賃貸マネジメントサービスの提供が実現し、高いレベルでのリーシング活動を実現させています。

Q.不動産投資を始める最適な時期はいつですか？

A.経済情勢などを加味することもあります、始めようと思ったタイミングがベストだと考えております。
その際どんな方法があるかを一緒に検証していきましょう。

Q.築古物件のリスクは何ですか？

A.築古物件は築年数の古い物で、すでに入居者が決まっている物件です。これはメリットともいえますが、前の管理会社がどのような審査、契約を行っているのかが不明の場合があります。
例えば、家賃の滞納癖のある入居者がいる場合には、サブリースから始めていただくことを不動産投資の初心者にはお勧めしております。その後、様子を見ながらサブリースを解除することも可能です。(スタートアップサブリース制度)

Q.入居者募集時の賃料は誰がどのように決めていますか？

A.毎週1回、弊社担当者がリーシング会議を行い、翌週の方針を決定しております。

Q&Aをもっと見る



杉田 聖威 さん

会社経営者 40代

不動産会社を50社以上訪問し、カイロスさんを選びました。

将来に備えて不動産投資を検討した際に、物件を見に行くだけでなく、不動産会社を50社以上も訪問しました。

ほとんどの不動産会社は物件を売ろうとプッシュするのですが、カイロスさんは**全く別で私の将来像と一緒に描いてくれて、どう活用するのがいいのか**を教えてくださいました。

お付き合いを始めてから5年以上が経ちますが、今では6棟の中古1棟アパートを保有し、順調に運用をしています。



名前非公開

広告代理店勤務 40代

築古物件の不安が解消できました

自己資金が少なかった私でも、与信力と保有資産を活用した取得計画を立案いただき、スムーズに取得ができました。

最初は築年数が古いこと等、不安もあったのですが、取得後大きな負担もなく、現金収入があるのがとても助かっています。

オンライン・オフラインでセミナー開催中

低金利の今！サラリーマンだからできる、収入を増やす“逆張り”資産形成！

資産10億円をつくるための道順をお伝えいたします。是非一緒に目指してみませんか？
不動産投資を進める上で最も重要なのが情報収集です。

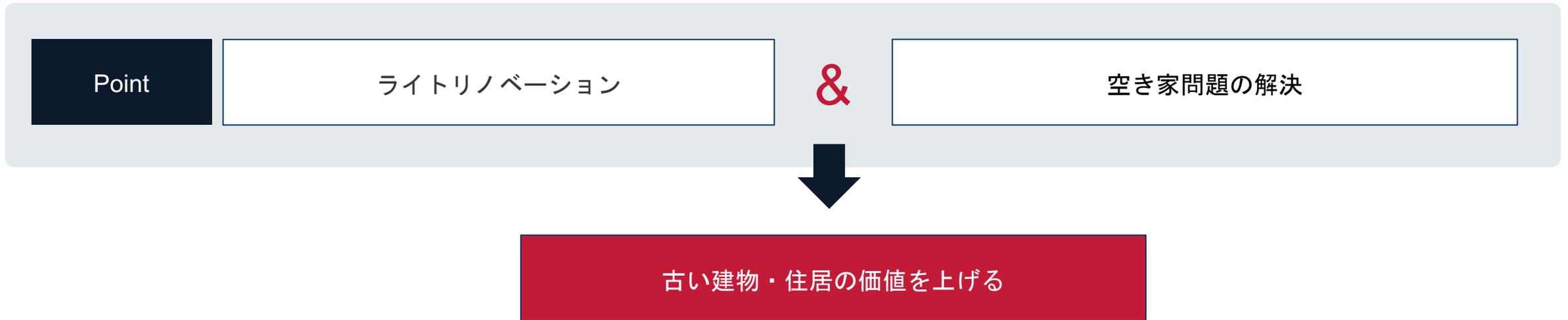
しかし、一般の方が情報を収集する術はセミナーかインターネットの情報になります。
そこで弊社のセミナーは、実際弊社が販売させて頂いたお客様の事例を基にお話します。

初めての不動産投資から、2棟目以降の購入に至るまでお客様のご不明点から不安点までご説明します。

■主なセミナー内容

- ・初めての不動産投資での物件の選び方
- ・自分はどの程度の融資が受けられるのか？
- ・管理方法や空室対策はどのように行うのか？
- ・家賃の下落対策とは

[セミナー日程はこちら](#)

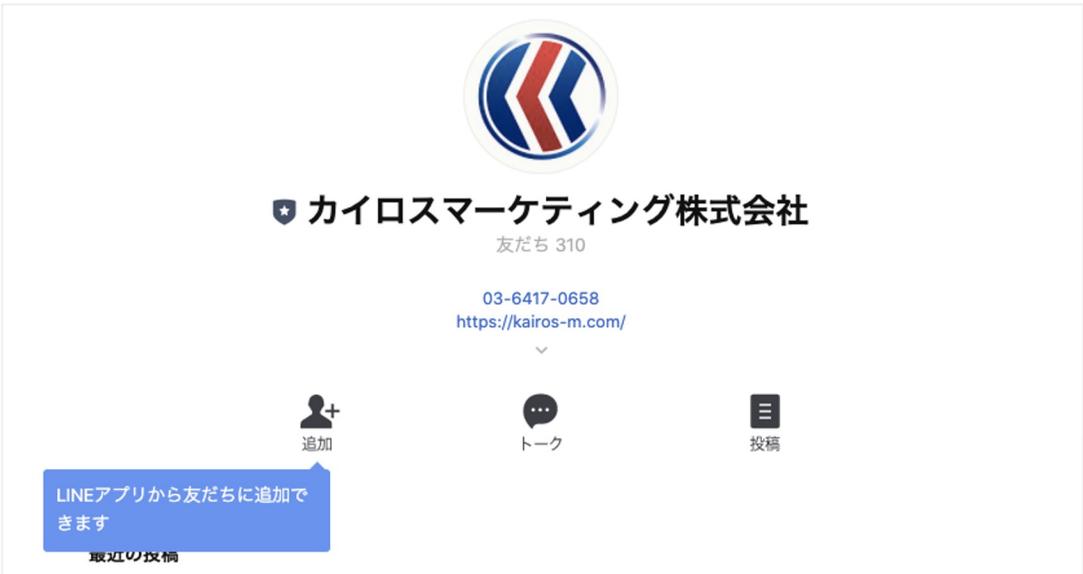


日本では新築を代表に、新しいものへの価値を大切にする傾向があるため、築年数が経ち、古くなったマンションやアパートの価値は下がっていきます。古い空き家を取り壊し、新しい建築物に立て直すスクラップ&ビルドは大量の廃棄物を生み出し、大量の資源を消費してしまい、地球環境保護の面から見ても、良いものではありません。

持続可能な社会づくりの観点から、ひとつの建物をできるだけ長期に渡って使用するために。また投資家の方々が安定的かつ長期的に収益を確保するために、不動産物件のメンテナンスコストとバランスを見ながら、最適な修繕の実施をご提供しています。



YouTubeはこちら



LINEはこちら

楽待YouTube公式アカウントに掲載された動画は約2ヶ月で2.8万回再生されました

▶ 再生する



5-7 カイロスマーケティングについて

会社名	カイロスマーケティング株式会社
設立	平成23年11月15日
役員	代表取締役 高桑 良充
免許番号	宅地建物取引業免許 東京都知事免許(2)第93890号 賃貸住宅管理業者登録 国土交通大臣(1)第6223号
資本金	3,000万円
事業内容	収益不動産販売事業 リフォーム事業 住宅販売・仲介 賃貸仲介 不動産管理 保険取次・代理店業務

本社

東京都目黒区下目黒2-2-16 第6千陽ビル4F
目黒駅西口から徒歩10分

TEL : 03-6417-0658

FAX : 03-6417-0659

営業TEL : 03-6417-3673

横浜事業所

神奈川県横浜市青葉区しらとり台2-23 201

[地図はこちら](#)